

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員全員、入居者様が地域の中で生活する事を大切にし、快適に過ごしていけるように、意見を出し合い、私達の目指すグループホームの理念を上げている。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念をリビングや事務所に掲載し、管理者・職員が理念に沿って意見を出しながらより良い介護が提供できるように取り組んでいる。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	地域には回覧でホームを知って頂く為、お便りを配っている。また、玄関・事務所・リビングに掲載し、御家族や来園者が目にし頂ける様にしている。運営推進会議で町会長等にお話したり、外部の方にもパンフレットに理念を掲げ周知して頂くようにしている。	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	職員・入居者様は毎日の散歩を通じ、近隣の地域の方とは挨拶やお話をして交流している。また、近所の畑を入居者様がいつでも見学できるよう地域の方に声を掛けて頂いている。町内の行事・町内清掃は積極的に参加し、職員も交流している。また、運営推進会議にて地域の一人暮らしの高齢者にもご協力できるよう、町会長にお話している。	○ もっと、こちらからの働きかけを多くし、地域に貢献していくような機会を今後、計画していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
5	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員全員が自己評価・外部評価に取り組み、自分のケアを見つめなおす良い機会となっていると答えている。また、もっと努力しなければならない点が明確となり、取り組む事ができる。	○ 自己評価・外部評価での結果を職員全員が受け止め、今後のケアに反映していきたい。
6	○運営推進会議を活かした取り組み 会議の構成員には、運営推進会議の意義を理解し積極的に参加して頂いている。運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービ	入居者様の様子や施設で取り組んでいる事など、会議で報告している。地域の方やご家族の意見を聞き入れ、サービスの向上に取り入れている。	○ 自己評価・外部評価の結果は、運営推進会議でも報告し、改善に向け地域や御家族の方の意見も取り入れて行く予定である。
7	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議の報告書や広報誌等は市へ提出している。	○ こちらからの働きかけが少なく、今後は相談し、生活の質の向上を図っていきたい。また、自己評価・外部評価の結果は報告していく予定である。
8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	外部研修に参加し、権利擁護や成年後見制度について勉強している。また、現在権利擁護事業を利用されている入居者様もいらっしゃるの、今後も相談等し、連携を図っていきたい。	○ 内部研修等行い、職員に権利擁護・成年後見制度について理解するよう勤めていきたい。
9	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	職員と日々のケアについて困っている事を聞き、指導している。また、入居者様の表情や行動の変化を観察し、困っている事等ないか話している。高齢者虐待を発見した時は、事実確認をするようにしている。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
10	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には御家族様が理解できるようにわかりやすく説明するようにしている。また、不安や疑問がないかを必ず尋ね理解して頂いている。	
11	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見や不満・苦情等はいつでも話して頂けるように常にコミュニケーションにより聞き出すようにしている。また、行動・言動により気持ちのサインを察知し、ケアに勤めている。	○ 機会を設け定期的に入居者様の意見が聞けるようにしていきたい。
12	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月に1度御家族へ入居者様の様子や健康状態をお手紙にてお知らせしている。また、面会時には近況を話し、報告している。	
13	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	いつでも御家族から気になる事や要望等話して頂けるようにこちらから声を掛けをし、話して頂くようにしている。苦情受付窓口を設置しており、御家族へは周知されている。御家族からの意見はすぐに対応し、ケアに反映している。	
14	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回の職員会議の場で運営に関する事を職員に伝達している。また、職員からの意見を聞き、反映している。	
15	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	勤務表は入居者様の暮らしに支援できるような人員配置としている。急な勤務変更には対応できるような体制を整えている。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動の際には、入居者様に不安を与えないよう説明している。新しい担当職員には入居者様の様子等必要な情報は個別で説明している。		
5. 人材の育成と支援				
17	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者・職員が外部研修に参加し、研修受講後は回覧にて職員に伝達している。研修で学んだ事はホームに持ち帰り、ケアに活かせる様にしている。研修等の業務についてのアドバイスは管理者が助言して行っている。	○	外部の研修を受講した際は、内部研修として職員全員が周知し、ケアに活かせる様にしていきたい。
18	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域包括センターの主導により、圏域のグループホームとの情報交換や勉強会を行っている。また、グループ会社の施設とは常に相談し、交流・連携をとってサービスの向上や職員育成について話合っている。		
19	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための良好な工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員一人ひとりに面談にて悩みやストレスがないか聞いている。職員の意見を聞きながら、改善するようにしている。	○	入居者様との共有スペースで休憩している事が多い為、職員の休憩できる場所を確保していきたい。
20	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	勤務状況や現場の状況は都度報告し、把握できている。修業規則を設けており、職員の労働条件を整えている。職員の向上心が持てるよう日々のケアについてアドバイスや指導をおこなっている。	○	もっと、職員一人ひとりに向上心とやりがいを 持って仕事ができるよう努力していきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
21	○初期に築く本人、家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人、家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族と面談し、直接話しを聞く機会を設けている。入居希望の方の状況をまず考え、身体状況やご家族の思い、ニーズを優先し、ホームでの生活する事でその方が生き活きと生活できるよう努力している。利用の希望をされた方やご家族とは何でも相談して頂けるよう信頼関係を築く事に意識している。	
22	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	面談し、対応が可能な要望は柔軟に対応している。対応が不可能な場合は、その他の関係機関に相談し、相談者に紹介するなどしている。	
23	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居者様が安心して生活できるようご家族から意向や生活暦等を聞き、入居者様の視点から支援を行っている。入居時には今まで生活していた環境に近づけるよう配慮している。	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
24	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者様と共感しあい、何を求めているか常に行動・言動から入居者様の思いを探ってケアしている。色々な方面から可能性を引き出すため、ご家族からの情報を得て興味があるものを探り、職員と一緒に支えながら生活している。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族とは入居者様の様子をお伝えし、ご家族の気持ちや思いを聞きだし、ご家族の気持ちに共感し、入居者様をともに支えるようにしている。		
26	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	月1回の面会は必ずして頂くよう配慮している。入居者様の希望により、面会・外出・面会等ご家族にもお話し、協力して頂いている。		
27	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人の面会や電話等は入居者様やご家族からお話を聞き、今までと変わらず行き来できるようこちらからも話している。入居者様にとって馴染みの場所にはドライブ等で出かけている。		
28	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	入居者様同士、共に支え合って生活している場面が良く見られている。入所者様にご協力いただいたり、理解して頂いたりして良い人間関係ができている。		
29	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	現在、退去された方がいませんが、サービス終了後もこれまで通り行き来できるようにします。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
30	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者様と話す事により、思いや意向を常に探り、何を望んでいるのかを入居者様本位に考え、職員同士で話し合い、その結果をご家族へも相談している。その都度、ご家族様からの情報を得て対応できている。	
31	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居者様一人ひとりの個性・生活歴から、その方に合った生活ができるよう配慮している。面会にいらっしゃる友人の方からも、情報を得て介護計画に反映するようにしている。	
32	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	入居者様一人ひとりの生活リズムを把握し、行動・言動・バイタル等により、体調の変化や気持ちの変化に気づき対応している。	
33	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画を作成する際は、入居者様の立場にたち、ご本人の思いに添った計画にできるようにしている。職員全員で話し合い、その方らしく生活するにはどのようなケアが必要かを見出している。	
34	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	入居者様の状態の変化や状態に応じて計画の見直しを行い、現状にあった計画を作成している。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
35	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日誌や伝達ノートにその日の状況を詳しく記録し、情報の共有と今後の介護計画に活かせるよう努めている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
36	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	現在は自主サービスを行うまで至っていない。	○	地域や相談者、入居者様やご家族のニーズに合わせて今後自主サービスに取り組んでいきたい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
37	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の民生委員の方には協力をお願いしており、警察や消防へも情報交換し、緊急時の協力をお願いしている。地域資源を活用し、地域の活力になるように心掛けている。		
38	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	現在は他のサービスを利用する為の支援は行われていない。	○	本人の意向や必要性に応じて、他事業所のサービスを利用していけるよう連携を図っていきたい。
39	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	今現在、利用の必要な入居者様がないため、地域包括センターとの協働には至っていない。	○	今後、必要に応じて対応できるように地域包括センターとの協力ができるようにしていく。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
40	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
41	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
42	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
43	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
44	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	ご家族や医療機関との話し合いの場を持ち、早期からの意思統一を図るようにしていきたい。
45	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
46	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	転居の際には、入居者様の生活情報を提供し、できるだけ環境の変化がないようプライバシーにも配慮し協力している。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
47	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	職員は個人情報の保護について理解し、常に入居者様の立場に立って訴えを受け入れ、ケアしている。また、入居者様への対応について話し合い、適切な対応ができるよう助言・指導している。	
48	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	本人の希望や意思にそって、見守りを行っている。ご家族へも情報を伝え、協力頂き対応している。行動を観察し、何を求めているのかを本人の立場に立って考えたり、選択して頂き、ケアしている。	
49	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	入居者様の生活暦やご家族の情報から、その方のペースで生活できるようご本人の意思を尊重し、ケアしている。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
50	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	馴染みの理容店や美容院がある方は、ご家族の協力の下、継続して利用して頂けるようにしている。また、地域にある理容店に協力していただき、お店に行き、終わり次第連絡を頂けるような体制をとり、入居者様と地域の方との交流の場にもなっている。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
51	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
52	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
53	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		
54	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		
55	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
56	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物ができる入居者様にはこちらで管理しているお小遣いを手渡し、自分で支払いするようにしている。	○	お金の管理ができない方にも買い物時には支払いしていくよう支援していきたい。
58	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日にはホーム周辺の散歩をしている。また、その方の状況により、車椅子を使用したり距離を考慮し行っている。またドライブに出掛けたり、ショッピングをしたり気分転換を行っている。		
59	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	外出場所は季節に合わせ、見晴らしが良いところや思い出のある場所等考慮し出かけている。一人ひとりの希望に添った場所への外出はご家族の協力もして頂き、行っている。	○	これまで生活してきた場所への外出を行ってきたい。
60	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	入居者様の友人も面会に来て頂いたり、入居者様より友人に電話したり、お手紙を出したり、入居前の友人との付き合いが継続できるよう支援している。		
61	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ご家族をはじめ、知人や友人の方の面会は良く来て頂いている。居室にて気兼ねなく談話を楽しんで頂いたり、その方によってはリビングにて職員も一緒に若い時はどの様な方だったのか話に入り、過ごしやすい雰囲気作りをしている。		
(4)安心と安全を支える支援				
62	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についての内容やそれによるリスクについて職員には都度伝達し、理解している。入居者様の状態によりやむを得ず身体拘束する場合にはご家族へ説明し、同意を得て経過観察し、できるだけ拘束しないようにしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
63	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	階段やエレベーターに通じる扉には施錠している所があるが、事務所内を通って階段へ行く所は1階へ自由に行けるよう施錠はしていない。外出傾向を察知した場合は職員付き添いのもと外出している。無断外出があった場合は、警察に連絡し、近所の方や地域のタクシー会社、同グループ会社の協力を仰ぎ搜索するよう体制ができています。		
64	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	入居者様のプライバシーに配慮し、常に所在確認をしている。夜間は入居者様の安眠を妨げないよう見回りをしている。		
65	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	注意の必要な物品は鍵の掛けられている物品庫や洗濯室に置かれている。薬等は事務所内のロッカーに置き、目が触れない所に保管している。入居者様の状態により、異食の危険がある物に関しては職員管理とし、事務所に保管している。		
66	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリハット・事故報告書はその都度記入し、その時の現場の状況や入居者様の様子を分析し、考えられる事故を防ぐ為、すぐに対応策を挙げている。また、月1回のフロー会議に再度話し合いをもち、その後の様子や他の対応策が無いかを職員の意見を聞き対応している。		
67	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	応急手当はマニュアルのもと、行うようにしているが、救急救命の研修等の参加はできていない。急変時や事故発生時にはすぐに医師へ連絡し、指示を仰いでいる。	○	応急処置や初期対応の詳細なマニュアルの作成を行っていく。研修にも参加し、定期的に勉強会も開催していく。
68	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災発生の訓練は夜間を想定し、入居者様の協力も得て定期的に行っている。すぐに通報できるようにマニュアルを掲載している。	○	地域のより多くの方にも御協力頂けるよう働きかけ、地域での災害対策等にも情報を収集するようしていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
69	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	入居者様の様子をご家族に都度話している。その中で起こりうるリスクについてや対応策についても話して、理解して頂いている。また、入居者様の精神的な負担にならない様に工夫し、対応の見直しを行っている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
70	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	禁忌は職員全員が周知している。毎日のバイタルチェックをし、体調を確認すると共に、いつもと違う行動・顔色・言動等を察知し、医療機関に連絡し対応できている。		
71	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者様の薬の情報はファイルにしてすぐ確認できるようにしている。薬の変更時には必ず伝達し、薬の情報をファイルして周知徹底をしている。誤薬がないよう、対策を講じ取り組んでいる。		
72	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘の原因を探り、できるだけ自然排便できるように排便を促す為にメニューやおやつを工夫し提供している。下剤等で排便を促している入居者様に関しては医師と連絡をとり、本人の負担とならないよう、薬の調整を行っている。		
73	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	職員全員が口腔内の清潔保持に必要性を理解し、毎食後に歯磨きとうがいを行っている。また、できるだけ自力で行えるよう見守りし、できない事は介助するようにしている。		
74	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスを考えた献立にしている。調理の時は減塩に努め、入居者様一人ひとりの状況（糖尿病・義歯の有無）に合わせ対応している。水分は十分に取るようこちらから提供している。栄養士に相談し、指導・助言を得ている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
75	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症に対してのマニュアルを作成している。情報があれば、職員の周知に努め、予防対策等を伝達している。	○	今後、ご家族へ情報を周知していくよう働く掛けていく。また、定期的に職員に予防・対応策について内部研修をしていきたい。
76	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日夕食後には調理器具をハイター消毒している。食材は週に2回行い、買い物がある日の昼食は、冷蔵庫の整理日とし、残っている食材で調理するようにしている。賞味期限内で調理している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
77	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関前には花壇を設け、花を育てている。ホーム前には居室からも見えるように花や野菜を植えている。また、天気の良い日には玄関前に犬をつなぎ、学校帰りの小学生が立ち寄ってくれている。		
78	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングやダイニングの窓からは、季節が感じられるような作りになっている。また、掲示板には季節に応じた作品が展示されている。日差しが強い時にはカーテンを使用し、環境整備にいつも配慮している。		
79	○共用空間における居場所づくり 共用空間の中には、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者様がいつでも団らんでできる様配慮し、共有スペースが確保されている。また、好きな場所でくつろぐ事ができるようリビング・ダイニング・畳のスペースがある。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
80	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	居室には家庭で使って来られたなじみの物を使用 し、御家族と相談し持って来て頂ける物は使用し ている。		
81	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	毎日換気している。換気扇は常時可動し、温度計 と室温計を設置し、いつでも暖房を使用でき るようにしている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
82	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活 かして、安全かつできるだけ自立した生活 が送れるように工夫している	安全に考慮し、廊下・階段・トイレ等には手すり が付いており、転倒につながるような物は置か ないように点検している。入居者様に状態に応 じて使用できるよう車椅子が確保されている。 入居者様が使いやすいように環境も整備して いる。		
83	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	入居者様一人ひとりの状態を把握して、その方 に合わせて常に職員で検証し、表示したり工 夫をし対応できている。		
84	○建物の活用 建物を利用者が楽しんだり、活動でき るように活かしている	ホーム前の花壇には入居者様と一緒に花や野菜 を育て、毎日成長を見守っている。天気の良い 日はホーム前に犬もいるので、様子を見に 一緒に行ったり、敷地内が広いので、散歩 したりしている。		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
85	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
86	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
87	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
88	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
89	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
90	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
93	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
94	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
95	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
96	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
97	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

私共は、入居者様と職員そしてご家族が「グループホームまりあ」の家族になれるように勤めています。入居者様が安心して暮らしていくには、ご家族がいつも来てくれる施設でなければならないと思っています。入居者様の思い、そしてご家族の思いに職員全員が共感し、私達は何をしなければならないかを常に考えてケアに取り組んでいます。入居者様・ご家族・職員が支えあいながら、家族となり、共に笑って、泣いて、慰め合いながら生活していきたいと思っています。また、これからは地域の一員として私達が貢献できる事に取り組んでいきたいと考えています。